

県内保育施設等における ヒヤリハット事例集



令和4年3月
(令和5年12月改正)
鳥取県

屋内 okunai

番号	公・私	区分	事例	対策
1	公立	保育所	フォークとコップをもって食器を片付ける際、手を滑らせコップが割れた。	食器は一つずつ片付けるように指導した。
2	公立	保育所	途中入所園児が、部屋を出て玄関から出ようとしていた。	途中入所のため本人の様子がつかめていなかった。あらためて当分は施錠すること、声掛けをしあうことを確認した。
3	公立	保育所	かばんかけに引っかかって転びそうになった。	かばんかけの場所を安全な場所に移動した。
4	公立	保育所	足洗い場（セメントの角は取ってある）の段差につまずくことがあった。	ゴム製のラバーを敷いた。
5	公立	保育所	トイレの使用後、中から扉を開けたら、次の順番を待っていた子どもにも扉が当たった。	順番を待つ時の位置を扉から離れるようにテープで線をひいた。
6	公立	保育所	足元がふらついて転んだところ、家具の端にぶつかって青あざになる。	万が一ぶつかってもけがにつながらないように、クッション材を施した。
7	公立	保育所	保育室の窓と押し入れの狭い隙間に入りこみ、頭が抜けなくなることがあった。	すぐに隙間をふさぐ対策をとった。また職員に周知し、他の部屋を確認し、安全点検及び環境の見直しを行った。
8	公立	保育所	登園児が少ない土曜日は、カバン掛けに付けるカバンが少なくなり、カバン掛けの片方に偏りができた為、子どもがカバンからお弁当を出す際にカバン掛けが傾いていた。	土曜日はカバン掛けを使用しない事とした。
9	公立	保育所	かばんかけから水筒を取ろうとして床に落ちてしまった。	かごを準備し床に置くようにした。
10	公立	保育所	廊下を走って衝突した。	お互いが見えないコーナーの床には、ストップマークをつけ子どもたちに周知した。
11	公立	保育所	2歳児男児がトイレに行き、男の子用便器を使用していた。流した後、水流を見ようとしたところバランスを崩し、便器に眉間を打った。子どものはいていたスリッパは、大きいサイズのものだった。	年齢に合ったサイズのスリッパを履けるように配慮した。 必要以上に顔を近づけないことを子どもに知らせた。 スリッパの位置の表示ををわかりやすいように作り直し、子どもがスムーズにスリッパを履いたり脱いだりしやすいようにした。
12	公立	保育所	保育室の出入り口の戸が両方向に開くため、開閉時に手を挟みそうになったことがあった。	片方だけを開閉することにし、出入り口の表示をつけ、園児にも知らせた。

屋内 okunai

番号	公・私	区分	事例	対策
13	公立	保育所	登園記録簿上で、出席児と欠席児の記入が入れ違っていた。	職員は、慌てず確実に記載することを徹底するとともに、出欠集計前に各クラス担任と出欠確認を行い、記入ミス等での出欠の見落としを防ぐよう徹底した。
14	公立	保育所	離乳食で提供されたおかゆの温度が高かったことを園児が泣き出したことで初めて気付く。	必ず冷ましてから給食室から出すこと、アレルギー対応食も含め、食事に関することは必ず声に出して確認することを再確認する。食事の対応を、経験数の少ない職員やパート職員に任せきりにしないことも再度徹底する。
15	公立	保育所	園児が口の中に紐を含んだまま帰宅していたと保護者から連絡があった。	口に入れる危険性のある玩具は子どもの近くに置かないようにするとともに、異年齢で遊ぶ場合は、仕切りで区切って遊ぶようにした。
16	公立	保育所	髪を結んでいた小さなゴムが本児の口の中から見つかった。	保護者に園でゴムを使用しないことへの協力をお願いするとともに、玩具等も含めて口に入れる危険性のあるものを再点検する。
17	私立	保育所	廊下を走る子どもの姿があり衝突のおそれがあった。	年長児の手作りのポスターを貼った。
18	私立	保育所	1歳児クラスでストーブの柵に登ろうとする子がいた。	柵に段ボールをかぶせて遊べるボードコーナーとした。(夏場のみ)
19	私立	保育所	未満児保育室の開きドアの隙間に園児が指を入れようとした。	ドアの隙間カバーを設置し指詰めを防止した。
20	私立	保育所	走っていた園児が、窓枠にぶつかってしまった。	窓枠にクッション材を取り付けガードをした。
21	私立	保育所	子どもが保育室入口の戸で指を挟みかけた。	戸にスポンジガードを付けた。
22	私立	保育所	使用していないベビーベッド(折りたたみ式)とオムツ交換台を並べて置いていたところ、20cmくらいの間隙があり、その隙間からベッドの中へ潜り込もうとする子どもがあった。	仕切りを作ってベッド下を覆うようにし、中に入れないようにした。
23	私立	保育所	保育士が少し離れた間に近くにいた友だちの食事に手を伸ばし食器をひっくり返していた。	本児はアレルギーがあるので、他児との間隔をあけて座るようにし、保育士は本児の食事が終わるまで側から離れないようにする。
24	私立	保育所	給食や午睡時など活動の切り替えの時間帯に、子ども同士の距離が近く噛みつきそうになった。	子どもの様子にしっかりと目を配りながらお互いが声を掛け合って役割分担を確認した。
25	私立	保育所	保育室の壁と棚の隙間に1歳児の頭部が挟まった。	配置換えをし、隙間や登れるスペースを作らないようにした。

屋内 okunai

番号	公・私	区分	事例	対策
26	私立	保育所	0歳児のベッドにつけていた手作り遊具のゴムが乳児の首に巻き付いた。	玩具を取り外した。
27	私立	保育所	寝ている子の顔を爪などで傷つけた。	0歳児ベッドにネット素材でガードし、他園児が手を入れないようにした。
28	私立	保育所	網戸を触っていた児童がそのまま網戸が外れたため転倒した。	業者へ点検を行ってもらった。
29	私立	保育所	椅子の背もたれの間隙に足を入れ込んで座り、そのまま転倒のおそれがあった。	椅子の間隙を覆って足が入らないようにした。
30	私立	保育所	紐通しで使用した紐を園児が首にかけて遊んでいた。	園児が安全に片付けるまで見守る。
31	私立	保育所	午睡中、園児がうつ伏せ寝になっていた。	10分おきに睡眠チェックをしているが、10分間の間も目を離さず、すぐに仰向けにする等の対応を行う。
32	私立	保育所	現在使用していない備え付けの棚に園児が登って遊ぼうとした。	棚を撤去した。
33	公立	認定こども園	保育室の手洗いマットにつまずいたり、転ぶ、滑るなどがあった。	ノンスリップマットに交換した。
34	公立	認定こども園	おもちゃを入れているかごの目が粗く、そこに園児が指を入れて指の皮がむけた。	かごの目が細かいものに変えた。
35	公立	認定こども園	園児がカバンかけに1方向でカバンを掛けており、移動の際に一斉にカバンを取りに行き、カバンかけが倒れそうだった。	カバンは前後に掛けるよう伝え、一斉に取りにいかないよう徹底した。
36	公立	認定こども園	お昼寝シーツに付いているずれ防止ゴムが、寝ている園児の顔の付近にあり、首がゴムの輪に入りそうになった。	布団を敷く際のゴムの確認及び寝入っている園児の姿や布団の確認を怠らないようにする。
37	公立	認定こども園	強風により、掲示物に使用している誤踏防止テープをつけている押しピンが床に落ち、裸足の園児が踏みそうになった。	ガムテープや両面テープに変更した。
38	公立	認定こども園	職員が作品製作で使用したはさみやカッターをそのまま置いていた。	使用後は必ず片付けることを確認する。
39	公立	認定こども園	給食のデザートに皮付きリンゴを提供したところ、皮が喉に引っかかり咽る。	果物を提供するとき、手で皮の剥けないものは、皮をむいて提供する。
40	公立	認定こども園	午睡中に嘔吐していた。	午睡時間は、時間を決めて見回り確認をするとともに、午睡場所は遮光カーテンで閉め切らず、園児の顔が確認できる明るさにする。
41	公立	認定こども園	ままごと遊びの際、トマトやウインナーの形をした玩具を口の中に入れて嗚咽した。	玩具の安全性を確認し、年齢に合わせた玩具（サイズ・材質）の選定を行うとともに、口の中に入るサイズの玩具は取り除く。

屋内 okunai

番号	公・私	区分	事例	対策
42	私立	認定こども園	後期食と完了食が同じワゴンにのっていたためデザート（果物）の配膳を間違えそうになった。	別のワゴンにのせて運ぶ、プレートの色を変える、声出しを行い複数で確認するなど対応を取った。 後期食もアレルギー食と同じ対応で行うようにした。（アレルギーマニュアル参照）
43	私立	認定こども園	弁当持参の日、食中毒予防のため涼しい部屋に弁当を集めていたが、同じ名前の子が同じ柄の弁当袋だったため取り間違えて食べてしまった。	集めた弁当は職員で手渡しするようにした。
44	私立	認定こども園	三段ボックスの上に乗る、窓の鍵に手が届き開けてしまいそうになった。	遊戯室の窓の下には三段ボックスを置かないことを徹底した。
45	私立	認定こども園	合同保育時、他児の遊んでいたビー玉を口に含んでいた。	口に入る大きさの物を扱う際は、保育者が側につき注意した。
46	私立	認定こども園	おやつの前に遊びのコーナーで飛び跳ねていて棚で顔の横を打つ。	活動の変わり目には保育者と一緒に本を見るなど落ち着いて過ごせるようにした。
47	私立	認定こども園	おしぼりをバケツに入れようとしてしゃがんだところ、横にある棚でおでこを打った。	棚とバケツの位置が近かった為、棚の位置を変えた。
48	私立	認定こども園	アレルギー児の誤食があった。	アレルギー児の給食やおやつがハッキリとわかるように、食器やトレーの色を替え、ネームプレートを付けた。何が何に変わったかをメモして知らせ、確認してから食べさせるようにした。
49	私立	認定こども園	園児がコンセントにピンセットを入れてしまった。	短時間でもコンセントキャップを付け直すこと、ピンセットを使用する遊びは机上のみで行うこと、コンセントの危険性の指導を実施した。
50	私立	認定こども園	午睡中のプレスチェックの際、園児の口の中に給食の果物が入っていることに気づく。	給食後のうがいの際に、口の中に食べ物が残っていないか確認するよう徹底した。
51	私立	認定こども園	給食運搬用のエレベーターのドアを閉め忘れ、中に園児が入る恐れがあった。	エレベーター使用時はチェックを忘れないようにする。
52	私立	認定こども園	保育室の移動の際に、一人で玄関フロアに出てしまった園児に30分程度誰も気付かず、迎えに来た他の保護者と別の職員が気付く。	保育室を移動する際には、複数の保育教諭が園児の人数点呼を行うよう徹底した。
53	私立	認定こども園	職員室の薬箱に園児一名分の薬袋が見つかり、飲ませ忘れてることに気付く。	朝の薬チェックを必ず行い、各クラスに声掛けをするとともに、朝の薬チェックができない場合は昼食後の薬チェックを怠らないようにする。
54	私立	認定こども園	電子ピアノの脚と脚の間に園児の頭が挟まった。	園児が通り抜けできないよう、段ボールで隙間を塞いだ。

屋内 okunai

番号	公・私	区分	事例	対策
55	国立	幼稚園	園児がローテーブルを持ち上げ、降ろす際に、別の園児の手の上にテーブルの脚が乗ってしまった。	遊びの約束等を職員で確認するとともに、場の設定の仕方を見直した。
56	私立	幼稚園	給食について、除去の必要な子どもに、通常児と同じ献立の一品を食べさせてしまった。	対象児の給食は、給食室において調理師により全てお盆にセッティングし、ラップで覆い、教室まで運び、担当が配膳することを無くした。
57	私立	地域型保育事業所	2歳児が先生の真似をして、歩き始めた0歳児の手を引いて歩こうとし、一緒に転びそうになった。	1点(特に、自分の担当児童)を注視する傾向があるため、改めて全体を見ることを注意喚起した。
58	私立	地域型保育事業所	玄関の鍵が子どもの手の届く場所にあり、子どもが開けて外に出ようとしていた。	鍵を子どもの手の届かない場所に増設した。
59	私立	地域型保育事業所	机付きの椅子に座っている子(1歳児)が、自ら立ち上がり降りようとした。	椅子と背中間にクッションを設置した。
60	私立	地域型保育事業所	何も前触れなく、駆け寄って行って噛みつく、前触れなく隣で絵本を読んでいる子の腕に噛みつくことがあった。	支援センターに相談し、保護者と一緒にかかわり方を模索しながら対応した。
61	私立	地域型保育事業所	ブロックで遊んでいる時ブロックに乗ってしまい滑って転び頭を打った。	ブロックに限らず散らばった玩具は箱にしまった。
62	私立	地域型保育事業所	寝かしつけの時、使用しているブランケットに付いている「クルミボタン」を園児が引っ張り、口の中に入れようとしていた。	園で使用するブランケット等はボタン等の装飾のない物にしてもらうよう保護者に依頼し、使用するときに確認する。
63	公立	地域型保育事業所	部屋を仕切る柵に衝突しそうになった。	柵の面取り、緩衝材の貼り付けを行った。
64	私立	届出保育施設	アレルギー食対応の園児のクラスで、残飯を水道の所に置き忘れた。	片付け後は直ぐに職員室の決まったゴミ箱に入れた。
65	私立	届出保育施設	アレルギー用給食へアレルギー食材が混入した。	献立表(食材にいたるまで)の読み上げと複数人で確認することを徹底した。
66	私立	届出保育施設	小麦アレルギーの子が登園しているため食品等の持ち込みを禁止しているが、他の園児がパンを持ってきており保育室に持ち込んでいたことがあった。	園からのメール(マチコミ)にて再度周知、玄関に貼り紙を行った。 途中入園の家庭に説明した。 もしなにかが落ちている場合スタッフが回収と掃除を行った。
67	私立	届出保育施設	手洗いの際に踏み台から落ち洗面台に顎を打つ事例があった。	対策として手洗いにつく職員、園児の見守り職員と職員の役割分担を見直した。
68	私立	届出保育施設	玄関では牛乳パックで作った台に座り、靴を履くがそこからジャンプしようとしたり、立とうとする子がいた。	幅を広くし高さを低くし、重さのあるものに作り変え、下には滑り止めシートを敷いて動きにくくした。

屋内 okunai

番号	公・私	区分	事例	対策
69	私立	届出保育施設	部屋の扉を開けていると、子どもが扉を閉めようとして指を挟むことがあった。	扉を開けているときは、ガムテープを貼って動かないようにした。
70	私立	届出保育施設	壁に貼り付けてあるホワイトボードの下に、台を持って来て立った子どもがぶつかりそうになった。	ホワイトボードの角にケガ防止のカバーを張り付けた。
71	私立	届出保育施設	廊下で走った園児が他の園児とぶつかった。	床に線と矢印を入れ、右側通行で動くようにした。
72	私立	届出保育施設	保護者から預かった冷蔵保存すべき投薬する薬を職員が常温で保管しようとしていたところ、別の職員が気付く。	保護者から薬を預かる時に注意事項を確認し合うことを徹底した。
73	私立	届出保育施設	保護者から休む連絡もなく、朝の人数確認の際も園児の姿が確認されていなかったが、保育が始まってからも他の園児への対応に追われていて保護者への確認を行っていなかった。	朝の人数確認の時点で連絡もなく登園していない園児の保護者への連絡を9時までにを行うよう徹底した。
74	私立	病児・病後児保育施設	ベッドからの転倒・転落があった。	ベッドを撤去した。
75	公立	放課後児童クラブ	ホール内でバドミントンを行っていたが、ラケットが長く、隣りの人に当たりそうだった。	当たっても痛くないウレタンマットに変更した。
76	公立	放課後児童クラブ	階段の手すりにぶらさがり、転落をした。	手すりに転落防止用のパネルをつけた。
77	公立	放課後児童クラブ	展示物などを壁面に貼る際に使っている画鋲が落ちていて子どもが踏んでしまいそうになった。	床に落ちた時に針が上を向かない画鋲に変更した。 ガムテープや両面テープが使用できる箇所は変更した。
78	公立	放課後児童クラブ	体育館遊びの際、はだしで遊んでいる児童がけがをした。	脱げにくい上靴の準備を保護者に伝え、上靴を履くよう指導した。
79	公立	放課後児童クラブ	児童がドアで指を挟みそうになった。	ドアを常時開けておくか、ドアと柱の間にクッションを付けてドアが完全には閉まらないようにした。
80	公立	放課後児童クラブ	ハサミを持ちチョキチョキ切る真似をしながら歩く子供がいた。	注意するとともに、張り紙をして全体に伝え、片づける場所にも大きく名前を書いた。
81	公立	放課後児童クラブ	保護マットに長いピンを刺すと、外れた場合足に刺さる危険があった。	マットがずれて滑ることがあったため、長いピンも10センチ間隔で差し込んだ。
82	公立	放課後児童クラブ	室内で転倒し、長机で頭部を打った児童がいた。	長机を角も丸いもの買い替え、ロッカーとして使用しているカラーボックスには緩衝材を付けて対応した。

屋内 okunai

番号	公・私	区分	事例	対策
83	公立	放課後児童クラブ	利用児童が勝手に玄関から出て、児童のみで降級してしまった。	迎えの時間までは、児童のみで出ないことを再度確認した。
84	公立	放課後児童クラブ	職員が玄関内側のカギを閉め、児童と共に2階で弁当を食べてから降りた際に、遅れて下校した子が中に入れず、一人で暑い中待っていたことに気付く。	出欠の確認を怠らないようにし、連絡が無く下校して来ない場合は、必ず学校・保護者に連絡を取るとともに、確認が取れるまでは、必ず1階に職員が残る。
85	私立	放課後児童クラブ	児童が押し入れに物をしまう際、押し入れの中で遊んでいる児童がいるのに気付かず、閉めて足を挟みかけた。	児童には押し入れの前まで手伝ってもらい、扉は支援員のみしか開閉しないルールを設定した。
86	私立	放課後児童クラブ	折りたたみ机の脚部分が倒れかけた。	使用の際は固定できるようひもで結んだ。
87	私立	放課後児童クラブ	座卓の留め金がゆるんでいて、児童の足へ倒れかけた。	座卓を消毒する際に留め金も緩んでないかチェックした。
88	私立	放課後児童クラブ	児童が手洗い場の掃除を手伝ってくれていた時、漂白剤を使ってしまった。	手洗い掃除等を児童とする時は、危険が伴わないかを考え、必ず水だけを使用する。

屋外 okugai

番号	公・私	区分	事例	対策
1	公立	保育所	園庭のフェンス下に幅10cm位のコンクリートの溝があり、そこに木の板をはめ込んでいた。年長児が板を外し、虫探しをしていた。そこへ2歳児男児が見に来て、足がはまりそうになった。	再度板をはめ込み、隙間に土を入れ動かないようにし、子ども達にも板を外さないよう話した。
2	公立	保育所	1歳児が鉄棒の下を通過した際、身長が鉄棒の高さぎりぎり衝突しそうになった。	使用しない時は、鉄棒にスポンジをまいたり三角コーンを置くなどの対策を取った。
3	公立	保育所	プランターの土をひっくり返し、虫探しをしていた子どもたちがガラスの破片を見つけた。	日頃から、職員が園庭周りのプランターの手入れや草取りなどの時に、点検・除去をした。遊ぶ前には石拾いやゴミ拾いをするようにした。
4	公立	保育所	鬼ごっこをしていて枝で擦り傷を作った。	園庭の庭木の剪定を実施し、進入禁止の箇所を設けた。
5	公立	保育所	ジャングルジムのボルトキャップが脱落していた。	ボルトキャップをすべて取り付けた。
6	公立	保育所	園庭の植木に蜂の巣を発見した。	殺虫剤で駆除した。
7	公立	保育所	3歳未満児保育室のサッシの鍵が、子どもの手の届く位置にあり開けてしまうことがあった。	鍵を高い位置に付替えた。
8	公立	保育所	園庭の柵の鍵を開閉していた。	ひもで鍵が簡単に開かないようにした。
9	公立	保育所	雪の日、長靴をはいていた子どもがスロープで転んでしまった。	玄関内にもバスタオル等を敷いて滑り防止を行った。
10	公立	保育所	降園時に玄関で保護者と話をしている時に、子どもが玄関から出ようとしていた。	保護者との話があるときは、前もって職員間で連絡を取り合い共通理解をし、話が終わるまでは担当の保育士が保育をすることとした。子どもを保護者に渡してからは話をしないことを徹底した。
11	公立	保育所	コンクリートの塀に手をつけて登れるようになっていた。	土が風等により地面に高さが出てしまったため、土を削り高さを調整した。
12	公立	保育所	軒下に蜂の巣を発見した。	駆除し、職員で建物まわりの総点検を行った。

屋外 okugai

番号	公・私	区分	事例	対策
13	公立	保育所	降園時、門扉から出るのが保護者と一緒には歩かず、先走ってしまう園児がいた。	安易には開かない門扉にした。門扉から駐車場までを照らす人感センサーに交換した。
14	公立	保育所	園外保育の際、公園の滑り台が濡れていたことに気付かず、園児が滑り下りた際に溜まっていた水で勢いが付き、転がるように着地する。	遊具の状態把握、安全点検を行った上で、遊ばせるようにした。
15	公立	保育所	戸外遊び中、砂場付近から子どもの声が聞こえるものの姿が見えないため確認すると、園児が用具収納庫の裏側の隙間に入って遊んでいた。	出入りができないようネットで塞ぐとともに、他にも類似の死角になり得る箇所がないか確認する。
16	公立	保育所	プールで浮き輪を使用して遊んでいた園児が、バランスを崩し、頭が水の中に浸かり、手足をバタつかせていた。	体格に合った大きさの浮き輪を使用しているか確認するとともに、浮き輪の安全な使い方を知らせる。
17	公立	保育所	園庭遊びから保育室に戻る際、1人足りないことに気づき、園庭に探しに行くと、園庭の隅の木の所にいた。	人数確認及び最後に入る職員は園庭に園児が取り残されていないか全体を確認することを徹底する。
18	公立	保育所	プール活動中に表情がなくなり、目をつむっていたため「大丈夫？」と声を掛けると頷き、活動の流れに乗っていたが、プール後に39.5度の熱があった。	朝の体温は平熱であり、保護者が記入するカードに○のチェックがあった場合も、気温が上昇して行く中、着替える前に一人一人の体調、表情を確認したうえでプールに入らせる。
19	公立	保育所	開いていた保育室の戸から戸外のプールまで出て行き、プールのフェンスに上がろうとしていた。	鍵をかけることを徹底する。
20	私立	保育所	園庭に子どもの掘った穴が大きくなり、つまづき転倒のおそれがあった。	穴を埋めた。
21	私立	保育所	暖かくなってきた頃から、裸足で外遊びをしていたが、クローバーにミツバチがいた。	靴をはいて遊ぶこととした。 クローバーの除草をした。
22	私立	保育所	園庭鉄棒に頭をぶつける事例があった。	鉄棒に衝撃緩和材を巻き付けた。
23	私立	保育所	砂場や芝生に"ハネカクシ"という刺されると火傷のような症状になる害虫が発生した。	園児が園庭で外遊びを始める前に発見されたため、外遊びを禁止し、害虫駆除を専門業者に依頼して被害を未然に防いだ。
24	私立	保育所	門扉の開閉を子どもが行った。	門扉上部(子供の手の届かない高さ)に掛ひもをつけるなど、2重に施錠対策を取った。
25	私立	保育所	園庭フェンスの隙間から駐車場に出ようとした園児がいた。	隙間を補強した。

屋外 okugai

番号	公・私	区分	事例	対策
26	私立	保育所	登園時、母親を追いかけて玄関から出ようとした。	人数の把握、子どもの居場所の確認などの徹底、必ず玄関に職員が立つこととした。
27	私立	保育所	園児が投げ合っていた帽子が園庭のフェンスの扉を超えて外へ出てしまい、それを取ろうと扉の下の隙間をくぐって園庭の外へ出ていた。	扉の下の隙間に、ワイヤーネットを取り付けた。
28	私立	保育所	園庭遊びに出た時に、正門と勝手口ドアの両方が開いたままになっており、園児が駐車場に出ようとしていた。	保護者に送迎時には必ず閉めてもらうよう注意喚起を行うとともに、保育者で徹底して確認するようにした。
29	私立	保育所	プールの中で遊んでいた園児が、近くで泳いでいた他の園児の上に乗りがかってしまった。	プールの中が密にならないよう人数や時間を決めるとともに、監視を徹底し、直ぐに気付けるように職員間で連携を図る。
30	公立	認定こども園	滑り台を逆から登ろうとして、通常で滑ってきた園児とぶつかる。	各クラスで、園児に固定遊具の使い方を再度周知した。
31	公立	認定こども園	園前の横断歩道を子どもだけで渡っていた。	交通安全指導として園児全体に登降園はお家の人と手をつなぐことをルールとし、啓発文章を玄関に掲示した。
32	公立	認定こども園	園庭から保育室に帰る時、内玄関で遊んでいた園児を把握しておらず、取り残していた。	活動時、移動時の人員点呼の徹底を行うとともに、全体を把握できるような職員連携について確認をする。
33	私立	認定こども園	前庭の「カメ池」を囲んでいるネットの柵をまたいで乗り越えて落ちそうになった。	ネットを撤去し、金属製のフェンスを新たに設置した。
34	私立	認定こども園	園庭遊びからトイレに入った3歳児がそのまま玄関のカギを開け門扉付近まで行っていた。	玄関引き戸上部にもカギを設置するとともに園児たちにも危険性や約束事について話をし、園児が園舎内に戻る際には必ず中にいる職員に声をかけること、門扉は必ず施錠することとした。
35	私立	認定こども園	保護者の送迎用出入り口から黙って出てしまう園児があった。	ベビーゲートと扉で2重にし、安全な環境を整備した。
36	私立	認定こども園	園庭駐車場に停めてあるバスの扉が開いており、園庭で遊んでいた園児がバスの中に入っていた。	バス停車後は、必ず扉を閉めるよう徹底する。
37	私立	幼稚園	園庭で木登りをして遊んでいた際に、木の枝が折れて転落しそうになった。	定期的な点検の実施及び腐食部分の伐採を行った。
38	私立	届出保育施設	玄関自動ドアを開けるボタンが子どもの手が届く位置にあり、勝手に外に出る子どもがいた。	ボタンを子どもの手が届かない位置に付け替え、保護者と一緒に玄関を出ることを徹底した。
39	私立	届出保育施設	裏庭で遊んでいるときに、子どもが表の方まで1人で行ったことがあった。	網で簡易的な柵を設置した。

屋外 okugai

番号	公・私	区分	事例	対策
40	私立	届出保育施設	前庭へ出掛ける時、間違えて道路に向かって走り出した子どもがいた。	引率の職員で連携し、玄関スロープから前庭へ行くところで誘導するように保育者を必ず1名配置した。
41	私立	届出保育施設	降園時、園の玄関から園児が保護者の手を振り払い、駐車場へ飛び出してしまう、他の保護者の車と接触しそうになった。	見送る保育士に対する周辺の状況把握の徹底と、玄関から車まで保護者と手をつなぎ、駐車場で園児が単独で歩かないよう保護者に注意喚起を行った。
42	公立	放課後児童クラブ	ブランコの周りに子どもが近づき、ぶつかりそうになった。	ブランコに乗っている子がいる時には後ろを通らない、近づかないことを徹底した。
43	公立	放課後児童クラブ	館庭のドングリの木に蜂が集まってきた。	木を伐採した。
44	公立	放課後児童クラブ	庭にある樹木の枝を振り、人に当たり、キズになった。	枝は事前に片づけた。
45	公立	放課後児童クラブ	蜂の巣が施設入口横の倉庫にできていた。	建物内に蜂が入らないように入口の開閉の注意をして、扉に張り紙をした。
46	私立	放課後児童クラブ	バスの乗せ間違えがあり、行方が分からなくなる恐れがあった。	職員が児童の顔と名前を見て確認するようになった。
47	公立	児童館	雪により施設周りの用水路と道路の境界が曖昧になっていたため足を踏み外し落下する恐れがあった。	利用者へ声掛けと目視で境界が確認できるよう除雪を行った。
48	公立	児童館	児童が遊庭以外でボールを使用していたところ、道路へ転がったボールを追いかけて、道路に飛び出した。	交通事故（大けが・命の危険）になること、ボールは必ず手に持って遊庭に移動し、遊庭でボールを使用することを繰り返し指導する。